超音波を利用した部品検査技術を開発

関係各位
2011年10月01日
超音波システム研究所

超音波を利用した部品検査技術を開発

超音波システム研究所（所在地：神奈川県相模原市）は、
超音波振動子1.6MHz,2.5MHzを利用した、オリジナル技術による、
超音波＜計測・解析・制御＞システムを応用して
部品の組み付け状態を検査する技術を開発いたしました。

新しい超音波の検査システム技術です。
部品構成に合わせた、超音波発振制御による
送受信の測定データについて、弾性波動を考慮した解析で、
各種の組み付け振動状態（モード）として検出します。
検出データを統計処理により
目的とする部品の評価基準に対して検査するシステムです。

複雑に変化する超音波の利用状態を、
音圧や周波数だけで評価しないで
「音色」を考慮するために、
時系列データの自己回帰モデルにより解析して
評価・応用しています

目的に応じた利用方法が可能です

例1：ネジの締め付けによる接触状態の検査

例2：溶接による接触状態の検査

例3：バネ・スペーサー・シール材・・による接触状態の検査

例4：電気接点の接触状態の検査

・・・・・・・・・・

参考動画

【本件に関するお問合せ先】
超音波システム研究所
URL：http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com